
「当施設における卵巢上皮性境界悪性腫瘍の治療実態と予後調査」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

埼玉医科大学総合医療センターにおいて、2011年1月1日から2024年12月31日までの期間に卵巢腫瘍に対し手術を行い卵巢上皮性境界悪性腫瘍の診断となった患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院で治療を行った卵巢上皮性境界悪性腫瘍の患者さんの治療内容による予後を調べます。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年5月7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

卵巢上皮性境界悪性腫瘍と診断された患者さんの診療記録を用います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、個人情報安全担当者である魚谷隆弘が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

卵巢上皮性境界悪性腫瘍と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 宮下 真奈美（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 品川 裕伯
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 周産期母子医療センター 中村 永信
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木寄 雄一郎

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 魚谷 隆弘
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井 智則
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 高井 泰

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 宮下真奈美

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9：00～17:00）

メールアドレス：miyamana@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当施設における卵巣上皮性境界悪性腫瘍の治療実態と予後調査

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 宮下 真奈美